

第3回江別市食育推進計画策定委員会 会議録（要点筆記）

日 時：平成30年10月10日（水）午後6時00分～午後7時00分

場 所：市民会館31号室

出席委員：小野寺委員長、伊藤副委員長、八巻委員、尾澤委員、今林委員、郷委員、竹居田委員（計7名）

欠席委員：中田委員、佐藤委員、鈴木委員、中橋委員（計4名）

事務局：川上経済部次長、堀井農業振興課長、徳橋農政係長、木村主事、田中主事（計5名）

1 開 会

（小野寺委員長挨拶）

2 議 事

（1）第3次江別市食育推進計画（案）について

【小野寺委員長】

議事の（1）「第3次江別市食育推進計画（案）」について協議願う。

まず、前回の委員会から修正した案の変更点について事務局から説明願う。

【事務局】

（事務局から「第3次江別市食育推進計画（案）」についての変更点を説明）

（1ページ目、「2食育とは」で追記した「私たちの体は、食べ物の置き換えでできています。」から、第2回委員会終了後に意見があり、「私たちの体は、私たちが食べたものでできています。」と変更）

【小野寺委員長】

前回からの変更点、または事務局からの説明に意見はないか。

【竹居田委員】

9ページ、前回の意見から「食生活に係る目標指標」の目標値や現状値の表記を変更したが、まだ、説明がなければわかりづらいのではないか。

【郷委員】

目標値の表現に「減少をめざす」など、説明が付けばよいのではないか。

【今林委員】

目標値はいつの目標を示しているのか。将来の目標ならば、現状値の後ろに来てもいいのではないか。

【事務局】

「えべつ市民健康づくりプラン21」では平成26年度から平成35年度の計画における目標である。目標値を後ろにすると結果に見えてしまう場合もある。

【小野寺委員長】

この場では具体案が出ないため、事務局に修正を委任し、パブリックコメント前に最終確認してはいかがか。

（各委員異議なし）

【事務局】

9ページの表の見やすさについては再度、事務局で検討したい。

【小野寺委員長】

その他、全体をとおして意見はないか。

【今林委員】

11 ページ、消費者行政分野の現状において、「地場産料理等講習会」というよりは「地場産品を使った料理等講習会」という言葉が適切ではないか。

16 ページ、取り組み例における「ライフステージ・・・」の記載は簡潔にしているのではないか。

【事務局】

指摘のとおり、11 ページ及び16～22 ページにかかる記載を修正したい。

【郷委員】

ライフステージごとに取り組みの一覧を作成してはどうか。

【小野寺委員長】

見やすさもあるが、計画として分野ごとにまとめていることも重要である。

【事務局】

各分野、各担当に関連した取り組みに分けており、理解願う。

【小野寺委員長】

24 ページ、成果指標の「1日の推定野菜摂取量」は成人期に限ったものなのか。

【事務局】

市内の成人を対象にした調査の結果を掲載している。

【郷委員】

第2章の国の現状では、6 ページ、野菜摂取の量に対する指標を使っているが、9 ページ、江別市の現状では、野菜摂取の頻度に対する指標を使っている。江別市の目標値は維持となっているが、市は摂取量に対して、現状をどのように捉えているか。

【事務局】

9 ページの指標については、「えべつ市民健康づくりプラン21」を基に掲載している。市民の野菜摂取の量に対する指標は、24 ページに掲載予定の「1日の推定野菜摂取量」が現状であると認識する。現在調査中ではあるが、推奨野菜摂取量の350gには届いていないことが予想されるため、目標は増加としている。

【尾澤委員】

国の「国民健康・栄養調査」の指標に、「健康日本21」の食事の推奨摂取基準を載せ、近年の傾向を見てはどうか。

【小野寺委員長】

「健康日本21」の指標分析は「えべつ市民健康づくりプラン21」に反映されている。食育の目標という観点から、食事の推奨摂取基準まで触れることができないのは、やむをえないのではないか。

【事務局】

食育推進計画は各専門分野の取り組みをまとめ、計画している。栄養に関する専門的な内容は、保健分野の個別計画の中で扱うものとしたい。

(その他意見なし)

【小野寺委員長】

パブリックコメント前の案として、今回の修正で協議を終了してよろしいか。

(各委員異議なし)

5 その他

(今後のスケジュールについて事務局から説明)

6 閉 会

【小野寺委員長】

これで第3回江別市食育推進計画策定委員会を終了する。

以上